

令和3年10月17日  
(更新) 令和4年7月18日

## 「イチコレ」における 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン 令和4年度版

### 1、基本的な考え方

「イチコレ」は一般市民が「市民モデル」として参加する企画であり、観客も伴います(~~今年度は無観客・生配信~~)。そのため、感染拡大予防対策を大きく3つに分けて考えていきます。

- ① 主催者としての対策
- ② 参加者(以下「市民モデル」)における対策
- ③ 関係者に要請する対策協力

いずれの対策においても、自己への感染を回避することはもちろんですが、他人に感染させないようにすることも重要です。いわゆる「3密の回避」を大原則としながら、具体的な対策を以下に示していきます。

なお、本ガイドラインの内容は、岩手県や一関市の方針、新型コロナウイルスの感染拡大の動向や保健所等の意見を踏まえ、必要に応じて見直しを行っていきます。

### 2、具体的な感染予防対策

上記で示した通り、3つの主体それぞれにおける感染対策法を整理します。

#### ① 主催者としての対策

##### A 会場レイアウト

- ・ 3密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避けるため、会場となる「~~一関市~~川崎市民センター」内の「ホール」および控室として利用する各部屋では、適正な対人距離が確保できるようなブース配置を検討、実施する。
- ・ 市民モデル控室や観客席における本状況下での最大収容人数を設定し、サイン表示する~~とともに、~~~~入場制限の仕組みをつくり、~~ことで収容人数を適正に管理する。

##### B 緊急連絡先の把握と名簿の作成

- ・ 市民モデル、ボランティアスタッフ、審査員、および、市民モデルの関係者全員の氏名・緊急連絡先を把握し、名簿を作成する(事前申告制)。

##### C 保健所等の公的機関との連絡体制の構築

- ・ 保健所等には事前に本ガイドラインを提出、必要に応じて指導をいただく。
- ・ イベント終了後にはBの名簿を提出し、感染の疑いのある人が発生した場合に速やかな連携を図ることができるように努める。

## D 関係者の把握および制限

### 【観覧について】

- ・観覧者はチケット制とし、氏名・連絡先を申告してもらう。なお、チケットの配布方法については本ガイドラインとは別途設定する ~~市民モデルの関係者(1名につき1名まで)のみに制限することで会場内の人数を減らし、対人距離の確保につなげる。~~
- ~~・観覧者の情報は事前申告制とし、受付時に申告されている人物と相違がないか確認した上で、会場への入場を許可する。~~
- ・原則として ~~事前に申告の~~ チケットを持参していない人の会場への立ち入りは禁止する。

### 【控室について】

- ・控室への入室はやむを得ない事情を除き、~~18歳未満の~~市民モデルの関係者(1名につき1名まで)のみに入室を制限する。
- ・控室への入室は事前申告制とし、受付時に申告されている人物と相違がないか確認した上で、控室への入室を許可する。
- ・原則として事前に申告のない人の控室への立ち入りは禁止する。

## E 関係者全員の検温の実施とマスク着用確認

- ・受付時に検温を実施し、37.5度以上の発熱または平熱比1度超過が見られた場合、入場および参加を見合わせていただく。
- ~~・同じく受付時に全員のマスク着用を確認し、本番含め、控室等でもマスクを取り外さないよう注意喚起する。万が一マスク不携帯の人にはマスクを配布し、マスク着用を拒否した人の入場は許可しない。~~
- ~~・会場内では主催者側スタッフが適宜見回りを行い、マスク着用のアナウンスを続ける。なお、熱中症対策としてマスクを一時的に外すことは認めるが、他世帯員との距離が2m以上確保できる場合のみとする。~~

## F 「場面に応じたマスク着脱」の呼びかけと呼応 ※令和4年7月4日に示された一関市の方針に準じて追加

- ・熱中症予防の観点から、マスク着用が過度なものとならないよう、以下の場面においては、マスクを外すことを市民モデルおよび一般来場者に呼びかける(サイン表示等)。
  - ① 2m以上の身体的距離が確保できる屋外(会話の有無を問わず)
  - ② 2m以上の身体的距離が確保でき、会話をほとんど行わない屋内(控室等)  
※観客席では身体的距離の確保が難しいため、マスク着用を推奨とする。
  - ③ 身体的距離が確保できないものの、会話をほとんど行わない屋外
  - ④ 会話があっても、2m以上の身体的距離が確保でき、十分な換気が行われている屋内
- ・上記場面においては、主催者側スタッフや関係者等も率先してマスクを外すようにし、周知につなげていく。

## ~~F-G~~ 手指消毒の設置と徹底

- ・会場入口や控室等に手指消毒用の消毒液を設置し、こまめな手指消毒を促す。
- ・スタッフ(ボランティアスタッフ含む)には携帯式の手指消毒液を配布し、接客や作業のたびに消毒を行う。
- ・手指消毒液の在庫は十分に用意し、定期的に主催者側が補充を行う。

## G H 搬入出時の感染予防対策の徹底

- ・開催数日前から会場の準備を始めるが、搬入時および終了後の搬出時における飛沫感染、接触感染を防ぐため、主催者側が**マスク着用 身体的距離の確保**などの積極的な声かけを行う。
- ・搬入出時は会場内で常時開放を徹底し、共有工具や備品からの接触感染を防ぐため、手袋の着用やこまめな消毒を促す。

## H I 参加者・関係者への感染予防意識啓発

- ・市民モデルやボランティアスタッフ、審査員は少なくとも開催2週間前から、できれば1か月前から通常以上に他者との接触に気を付けた生活をしていただくよう周知徹底する(可能な限り「接触確認アプリ」を導入、活用していただくことを推奨)。
- ・感染予防対策を参加者間でしっかりと共有していただくよう周知徹底する。
- ・**岩手県復興危機管理室による「イベント等の開催フロー」に基づき、本ガイドラインとともに「感染防止策チェックリスト(P5参照)」を主催者のHPに公表し、周知と意識啓発に努める。**

## I J 差別防止の徹底

- ・万が一コロナウイルス感染者が当イベント参加者から発生した際にも、差別等が起こることのないよう、意識啓発を図るとともに、差別の起こるような状況が発生しないよう、本ガイドラインの対応徹底に努める。

## ② 参加者（市民モデル）における対策

### A 咳エチケット、**場面に応じたマスク着用、手洗い、手指の消毒の徹底 対応**

- ・自身が感染しないことはもちろん、他者へ感染させることのないよう、上記基本的な対策を徹底する。
- ・特にマスクに関しては、2m以上の身体的距離が確保できない屋内においては、**会話が生じる場合でのマスク着用を原則とする。それ以外での場面では、①-Fに則り、適切な着脱を心がける。ショーの本番や控室にいる際にも絶対に外さず、熱中症対策として外す際には他者のいない場所へ移動する。**
- ・参加者同士の濃厚接触を避けるため、待機中も必要以上の会話等は避けるよう声がけする。

### B 控室内滞在時間の制限

- ・濃厚接触を防ぐため、15分以上、控室内に同一の人が留まらないよう、交流の持ち方に工夫する。
- ・ショーの直前等、やむを得ず複数人が控室に滞在しなければいけない際には、換気をしっかりと行い、空気循環に努める。

### C 控室や待機中の対人距離の確保

- ・参加者同士の距離は最低1mはあけるよう控室内でも意識していただく。
- ・1mの距離をとっていても、対面で会話をするような場面は極力避ける。

### D 高頻度接触部位および共用物品の消毒

- ・鏡やテーブル、イス、更衣室などを使用する際は、その前後に消毒をしてもらうよう協力を呼びかける。

## E ショー本番の飛沫飛散防止対策

- ~~・観覧者等への飛沫飛散を防止するため、ショーの本番もマスク等の着用を義務付ける。ただし、ファッションショーでもあることから、衣装に合わせたマスクと同等の機能を有した代替品でも可とする。~~
- ~~・※ただし、本番以外は一般的なマスク着用を推奨。~~
- ・上記マスク等を着用していても、飛沫飛散を防止する観点から、声を発するようなパフォーマンスは禁止とする。
- ・ショー中のマスク着用については、①-Fに則り、適切な着脱を心がける。

## ③ 関係者に要請する対策協力

### A 関係者の制限および受付対応への協力

- ・今年度は**無観客 有観客**とし、事前に**申告** 配布をした**整理券 チケット**を持参した人のみ**市民モデルの関係者のみ**観客席への入場を許可し、控室への入室を**は事前に申告した者のみ**許可する。  
※観客席への入場：**市民モデルの関係者(1名につき1名)** チケットを持参した人  
※控室への入室：**18歳未満の**市民モデルの関係者(1名につき1名)
- ・必ず通過しなければいけない場所に受付を設置し、**事前に申告されている人物と相違がないかチケットの有無を確認する**をとる。
- ・受付時に検温を行い、37.5度以上の発熱または平熱比1度超過がみられた場合には入場を自粛していただく。
- ・受付時には主催者側が用意した導線に従っていただき、行列における密を避ける。

### B 咳エチケット、**場面に応じたマスク着用、手洗い、手指の消毒の徹底 対応**

- ・~~マスク着用義務に応じていただくほか、~~ ①-Fに則り、咳エチケット等、各種基本的な感染予防対策にも協力していただく。

### C 観客席での感染予防対策への協力

- ・観客同士の接触を極力避けるため、~~座席は原則、定められた席に座っていただき、~~着席後の移動や、本番中の入退場は原則、禁止とする。
- ・本番中はもちろん、ショーの前後も極力会場内での会話はご遠慮いただき、飛沫感染を予防する。

以上

## 感染防止策チェックリスト

【第3版(令和4年5月版)】

## 1 開催概要

本項目では、チェックリストを記入する前に、催物の情報をご記載ください。

イベント名称	イチコレ第3回コンテスト (開催案内等のURLがあれば記載)			
出演者 チーム等	市民モデル(約20名)は別添記載 (多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。)			
開催日時	2022年9月4日(日) 14時～13時30分 ※複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。			
開催会場	一関市川崎市民センター (会場のURL等があれば記載)			
会場所在地	岩手県一関市川崎町薄衣字諏訪前7-1			
主催者	一関市 / いちのせき市民活動センター			
	所在地	<いちのせき市民活動センター> 岩手県一関市大町4-29 なのはなプラザ4階		
	連絡先	(電話番号) 0191-26-6400	(メールアドレス) <a href="mailto:center-i@tempo.ocn.ne.jp">center-i@tempo.ocn.ne.jp</a> (代表)	
収容率 (上限)	<input checked="" type="checkbox"/>	収容定員あり 100% (大声なし)※	<input checked="" type="checkbox"/>	収容定員なし 人と人が触れ合わない 程度の間隔
	<input type="checkbox"/>	50% (大声あり)※	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
収容人数	【メイン会場(ホール)】228人 【参加者等控室】研修室 80人/創作室 20人/和室研修室 30人/音楽研修室 20人			
参加人数	【完全把握(リスト化)】①主催者側スタッフ 約20人 ②参加者 約13組20人			
その他の 特記事項	大声を発するようなパフォーマンスは原則禁止することを参加者にはアナウンスしている。 ※「イチコレ」における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン令和4年度版にも明記 (大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)			
※ 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。				

## 2 感染防止のチェックリスト

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※ 5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

<p>① 飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底</p>	<p>☑</p>	<p><b>【大声なしの場合】</b>            飛沫が発生する恐れのある行為を抑制するため、適切なマスク(不織布マスクを推奨。)の正しい着用(※1)や大声(※2)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる(※3)。            ※1 屋外で会話のない場合など、マスク着用が必要ない場面(令和4年5月27日付内閣官房事務連絡資料参照)があることに留意すること。            ※2 大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。            ※3 措置を講ずるに当たっては、乳幼児を含む小さな子どもや、健康上の理由により、マスク着用が難しい方への配慮をお願いします。</p> <p><b>【大声ありの場合】</b>            「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。</p>
<p>② 手洗、手指・施設消毒の徹底</p>	<p>☑</p>	<p>こまめな手洗やアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施)。</p>
<p>③ 換気の徹底</p>	<p>☑</p>	<p>法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分間以上等)の徹底。</p>
<p>④ 来場者間の密集回避</p>	<p>☑</p>	<p>入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施。</p>
<p></p>	<p>☑</p>	<p>休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や同線確保等の体制構築。</p>
<p></p>	<p>☑</p>	<p>大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保。</p>

## 2 感染防止のチェックリスト

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※ 5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

⑤ 飲食の制限	<input checked="" type="checkbox"/>	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
	<input checked="" type="checkbox"/>	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	<input checked="" type="checkbox"/>	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用のエリア以外（例：観客席等）は自粛。
	<input checked="" type="checkbox"/>	自治体等の要請に従った飲食・酒類の提供（飲酒提供時は、大声等を防ぐ対策を検討。）。
⑥ 出演者等の感染対策	<input checked="" type="checkbox"/>	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（縁者・選手等）の健康管理を徹底する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。
⑦ 参加者の把握・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
	<input checked="" type="checkbox"/>	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
	<input checked="" type="checkbox"/>	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。